東京工業大学特集

的な興味に至るまで、科学をやる者でなければわからない楽しみを満喫していると大言荘語しても少しはうそではありません。 (丹生 記)

高分子物理化学講座

助教授 中 条 利一郎

雑誌会、ゼミなどは西岡教授のグループと共同で、講座単位で運営しているが、研究面では多頭政治による混乱を避けるため、主として西岡教授が指導するグループと、主として中条が指導するグループにわけている。後者の研究テーマは、一言にして言えば、高分子に見られる統計現象ということになるが、こまかい各テーマについて以下簡単に紹介しよう。

1. メタクリル酸メチルのnブチルマゲネシウムブロミドによるアニオン重合機構の触媒濃度依存性

メタクリル酸メチルが種々の触媒によってアニオン重合することはよく知られており、その中のいくつかは単純マルコフ過程にしたがう。その遷移確率は重合温度に依存するが、発熱反応のため、最初に設定した温度を重合温度とみなせない。そこで、触媒濃度を変えることにより発熱量を変え、どんな温度を重合温度と定義するかというのが目的。

- 2・メタクリル酸メチルのイソブチルマグネシウムブロミドのアニオン重合機構の温度依存性
- 3. メタクリル酸メチルの t ブチルマグネシウムブロミドのアニオン重合機構の温度依存性
- 2,3は1とあわせて触媒分子の幾何学的な大きさが、遷移確率に及ぼす影響をしらべるのが目的で、重合温度を変えると、エンタルピー、エントロピーなどの熱力学関数が求まるので、それを用いる。
- 4. アクリロニトリルとメタクリル酸メチルのラジカル共重合におけるモノ マー反応性比の決定

単純マルコフまたは二重マルコフ過程を記述するパラメータであるモノマー 反応性比が従来はベルヌーイ試行の情報の集積から決定していた。これをマルコフ過程に関する情報を用いて直接記述する。

5. モンテカルロ法による高分子鎖の生成

高分子鎖の形態を決定すると考えられている因子を逐次導入して,それぞれ のモデルに対する高分子鎖をモンテカルロ法により生成させ,そこから必要な 因子を逆に求める。

6. 高分子研究室の自動化

计为不允许

分析機器とのオンラインによるコンピュータを用いて、研究室を自動化するのに必要な情報処理法の探索。

医乳囊液化性感觉 医电子遗传性 医多种性 医多种性 医多种性 医二种 医外外的 医心管炎

集制建筑 化克洛克氏 医二甲基甲酚 化异丁二苯甲酚异戊甲二甲酚 医水平原 医小手术

The first term of the first te

医脑髓性 化基甲基酚 人名格格尔 医多克氏 化二丁二二烷 的复数人名 化基本

高温度 医电影 医电影 医多种性 医多种 医多种 医多种 医多种毒素 医多种毒素

化水果基金 医骶骨髓的 医白色麻痹 人名英格兰 医皮肤性炎 斯特尔森的 人名法格斯特尔 化二

著《老师》《西西文诗》,"一个《金统》故籍"故故者"的"名"之时,其故故《诗篇歌》》

无形式 中国人工人员未婚者 网络特鲁亚

2、支头, 老鱼类开水大美国农民公司

化国家国际特别 医乳腺激素异形性 化

化三氢氧化氢压物 医经济发生物 医甲基酚亚酚宁

经需要进售的证明的法法法院的证明的证明,从中国人们的证明的证明的证